

報道関係者各位

2017 年 10 月 25 日  
株式会社 Niji リクルーティング

## LGBT それぞれの転職理由・会社に求めることを調査 転職時 カミングアウトが多いのは“ゲイ”!? セクシュアリティによって大きく違う 会社への本音

LGBT に特化した人材紹介を行う、株式会社Nijiリクルーティング（本社：東京都港区、代表取締役：齋藤 敦<sup>さいとうあつし</sup>）は、2016 年 6 月～2017 年 9 月の間に就職・転職相談を受けた LGBT 当事者の内、2,133 名を対象に就職・転職への意識調査を実施しました。

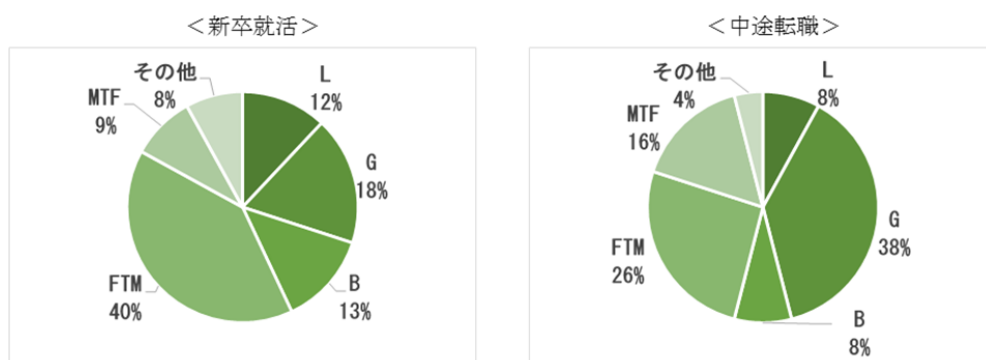
LGBT とは、レズビアン（L）、ゲイ（G）、バイセクシャル（B）、トランスジェンダー（T）の総称（※）です。今回の調査ではセクシュアリティの違いで会社に対して求めることや、転職理由に違いがあることが明らかになりました。

### ◆仕事は順調だが“セクシュアリティ”で転職を考える“ゲイ”

今回の調査では、新卒と比較して転職の相談にゲイが多い結果となり、給与や労働時間を転職理由にする人は少なく、仕事内容の不満よりセクシュアリティを理由にする人が多いことがわかりました。

トランスジェンダーは履歴書に記載する性別や、自認する性の容姿で出勤できるかなど、社会人になるタイミングでカミングアウトするかどうかを悩む人が多いため、新卒時に相談割合が多くなります。しかし、レズビアン、ゲイ、バイセクシャルは会社の風土や福利厚生制度など、就職後に「仕事をする上でセクシュアリティが関係することがある」ことに気付き、転職を検討する人が増えています。ゲイには現在の仕事内容やセクシュアリティに対しての不満ではなく給料面への不満を転職理由に挙げる人もいましたが、次の職場には自分のセクシュアリティに理解がある会社を希望しています。

【LGBT 新卒・中途相談割合】



【転職を決めた理由】

	L	G	B	FTM	MTF	計
仕事内容・キャリアアップ	53%	25%	34%	44%	25%	34%
セクシュアリティ	6%	39%	22%	32%	47%	34%
人間関係	13%	20%	20%	10%	4%	13%
給与	16%	6%	14%	6%	17%	10%
労働時間	8%	3%	3%	3%	4%	4%
経営状況	0%	1%	0%	2%	3%	1%
その他	4%	6%	7%	3%	0%	4%

※性的マイノリティは数十通りに分けられると言われていますが、本調査はL、G、B、FTM、MTFの5つにわけて調査を行いました。（FTMは女性として生まれたが自認する性が男性、MTFは男性として生まれたが自認する性が女性）

### ◆フレンドリー企業（※）にはこだわらないが、理解は期待

フレンドリー企業への就職を希望する人はセクシュアリティによって大きく差があり、特にレズビアンの方は「どちらでもよい」と回答する人が多い結果となりました。しかし、理解のない企業への就職は「どちらでもよい」という回答は少ないことが分かりました。企業に求める配慮としては“同性パートナー制度”や“相談窓口の設置”などの項目が多い結果となりました。

※フレンドリー企業：積極的にLGBTへの取り組みを行っている企業

#### 【就職先はフレンドリー企業が良い】

	L	G	B	FTM	MTF	計
是非フレンドリー	0%	35%	38%	45%	61%	41%
できれば	38%	47%	14%	46%	30%	40%
どちらでもよい	63%	18%	48%	9%	9%	18%

#### 【理解のない企業への就職】

	L	G	B	FTM	MTF	計
しない	13%	47%	41%	53%	65%	50%
できるだけ避けたい	75%	44%	36%	43%	26%	42%
どちらでもよい	13%	9%	23%	3%	9%	9%

#### 【企業に求める配慮】

	L	G	B	FTM	MTF	計
研修	12%	24%	38%	28%	17%	24%
トイレや制服	0%	2%	2%	31%	43%	19%
同性パートナー制度	47%	45%	7%	6%	4%	21%
相談窓口の設置	35%	18%	41%	22%	26%	24%
その他	7%	12%	13%	13%	9%	11%

### ◆カミングアウトをしないと決めている割合は25%

カミングアウトに関する調査では、自認する性に合う容姿で生きたいと希望するトランスジェンダーは「したい」「状況次第でしたい」と答える人が8割を超える結果になりました。カミングアウトをしないで働いているトランスジェンダーも多く存在しますが、カミングアウトをして自認する性に合う容姿で働く環境を望んでいる人が多いことがわかります。ゲイ、バイセクシャルはトランスジェンダーと比較すると「しない」と決めている人の割合が高いですが、それでも「できることならカミングアウトができる環境で働きたい」と考える人が多く存在します。一方、レズビアンは「しない」という回答が1番多くなりました。レズビアンは、将来、パートナーやパートナーの子どもを扶養する可能性があり、カミングアウトができる環境より、キャリアアップを優先的に考える傾向があると考えられます。

#### 【カミングアウトをして働きたいか】

	L	G	B	FTM	MTF	計
したい(する)	13%	24%	24%	40%	57%	35%
状況次第でしたい	13%	41%	53%	43%	39%	40%
しない	75%	35%	22%	17%	4%	25%

## LGBTそれぞれのセクシュアリティへの理解が必要

現在はLGBTダイバーシティ推進に取り組む企業や自治体も増え、社会でも「LGBT」という単語を見る機会が増えてきましたが、それぞれのセクシュアリティへの理解は浅い現状があります。

仕事においてもセクシュアリティによって理解を求める内容も異なり、「知らない」ことで気付かないうちに当事者を傷つけているケースも多くあります。

LGBT当事者の悩みや転職理由はセクシュアリティによって、まったく異なっており、企業としてはそれぞれに取り組むべきことが変わるということを意識することが大切です。また、仕事内容や給与などに不満はなくても、LGBT転職者のうち1/3が、セクシュアリティを理由に転職を考えているということは、企業の人事採用戦略のうえでも重視すべきことだと考えます。

### 【調査概要】

期間：2016年6月～2017年9月

対象人数：2,133名（内、新卒625名、中途1,508名）

### 【株式会社Niiji リクルーティングについて】

当社はLGBTに特化した人材紹介で唯一、厚生労働省の認可を受けている会社であり、「すべての人が仕事で活躍できる社会を創る」というビジョンを掲げ、LGBT当事者に対して就職や転職の支援をしています。

現状では「自分のセクシュアリティを就活の面接でカミングアウトすべきか」「採用説明会や面接に私服で行きたいが、認めてもらえるだろうか」など、周りにも相談できずに悩んだ結果、自らエントリーする企業の範囲を狭めざるを得ない状況になっている学生や求職者がたくさんいます。

また、すでに働いている人の中には「悪気はないのは分かるが、同僚に何度も結婚や出産の予定を聞かれる」「セクシュアリティを隠すことで、結果的に嘘をつかざるを得なくなる」というような悩みを抱え、仕事に集中できず、仕事内容自体は満足しているものの転職を考えざるを得ないLGBT当事者もたくさんいます。

当社は、LGBTの学生や求職者の就活や転職を支援すると同時に、LGBT当事者の職場環境を整備することで、LGBT当事者の方が仕事で輝けるようサポートをしたいと考えています。

### 【会社概要】

社名：株式会社Niiji リクルーティング  
代表：代表取締役 齋藤敦  
本社所在地：東京都港区東新橋2-4-1 サンマリーノ汐留6階  
電話：03-6452-8822  
ホームページ：<http://niiji-recruiting.com/>  
設立：2016年6月  
資本金：1億円  
事業内容：採用支援・ダイバーシティ推進支援  
有料職業紹介事業許可番号：13-ユ-308011

#### <本件に関するお問い合わせ先>

Niiji リクルーティング 広報事務局

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788

E-mail：pr@real-ize.com

担当：しばやま 柴山（携帯：070-1389-0172）